

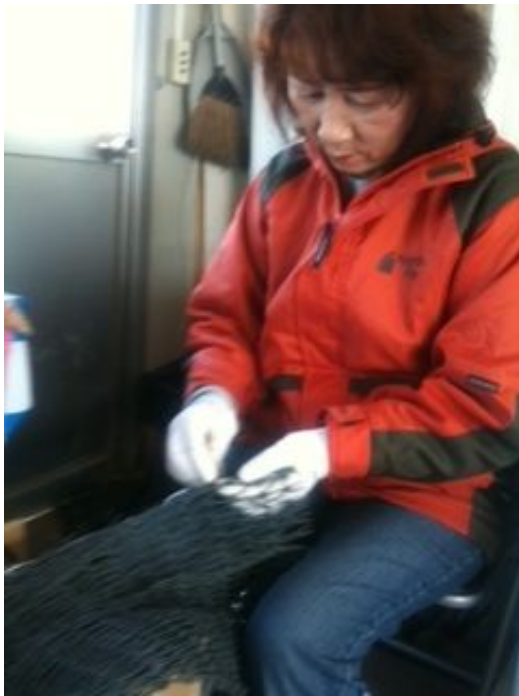
# 凧通信～あおぞら食堂(炊出し・復興支援)活動報告

第6号 発行 平成23年11月14日 株式会社 凧スピリッツ メディア広報部編集

◆10月報告書……………ラーメン凧 ボランティア担当 椎葉三江

朝夕冷え込む日も多く、マスクをつけていらっしゃる方もちらほらお見かけすることも多くなって参りました。

あおぞら食堂でも夕方になるとドアを閉めて店内のみでの営業をさせていただいたりと少しずつ冬の足音が聞こえてきた南三陸町です。



(ホタテ養殖の準備)



(カモシカと遭遇！)

最近では地元の方々の活動も盛んになってきています。海でのお仕事の方々は、わかめの養殖の準備や加工場の建て直しや漁の再開など。農業の方々も野菜やお米の収穫や菊の出荷など精力的に活動されている様子がうかがえます。

あおぞら食堂に対しても積極的に意見を述べてくださったり、ご協力いただいたりと元気で明るい皆さんの笑顔に私どもも元気づけられる毎日です。

ラーメンに関しましては地元の方々の意見を取り入れ麺を当初よりも細くさせていただきました。その際には麺のご支援をいただいておりますカネジン食品様には迅速に対応して頂きましたこと深くお礼申し上げます。対応して頂きました担当の原様にはわかりやすいご説明をいただき本当に有難うございました。地元の方々も大変喜ばれ、麺が変わったことで来店回数が増えた方も少

なくありません。本当に有難うございます。



また、ラーメンの提供の際のどんぶりも、私どもの活動や南三陸町を日頃より応援してくださっている沢山のラーメン店主の方々から、ご協力をいただいています。色とりどりの丼を見ると、ラーメンが結ぶ縁と力を実感します。見た目にも華やかさを出すことが出来たこと、お力添えを頂きました皆様へ深く感謝いたします。



このように活動させていただけているのも多くの皆様のご理解、ご協力があるものです。

常に感謝の気持ちと皆様の想いを届けるということを胸に頑張っまいると思います。  
これからもよろしくお願いいたします。

10月初旬あおぞら食堂は、9月末で撤退されたボランティア団体の方々が多く、土日の集客の大幅な減少がみられたり、夕方の寒さが来客数に影響したりと少々低迷しておりました。

しかしながら、地元の方々や近隣の方々への浸透が深まってきたこともあり中盤以降は少しずつ活気を取り戻してまいりました。

また、近隣での工事に来ていらっしゃるの方々のご利用も増え、平日の利用者が増えてきたことは良い傾向にあります。リピートしてくださる方を少しでも多くしていく為にも一人一人のお客様に対して気持ちのこもった接客、美味しいラーメンのご提供を常に心がけていきます。

そして満足、感動、信頼へと繋げていけるよう魂のこもった活動を続けていくことを課題としております。



地元の方への寄り添う支援のひとつとして「ホタテキャンドル」の委託販売を行っています。こちらを引き続き応援させて頂いております。こちらは五福星の早坂様のご協力が大変大きく、ご自身のTV取材の際に工房の様子や製作に携わっているお母さん方の想いなどを映像を通して伝えることにより、より多くの方へ広まっています。



キャンドルもバリエーションに富んだものになり購入される方も色々選べるようになりました。  
これからも想いの詰まったホタテキャンドルの応援を続けていきたいと想います。

少しずつ寒さも厳しくなって来るであろう南三陸町ですが、少しでも暖かくなって頂けるよう笑顔  
と元気を振りまいていきたいと思います。

これからも応援よろしくお願いいいたします。

◆ラーメン凪グループ各店 10月募金額

渋谷店 10,197 円、駒込店 13,340 円、西新宿店 1F 3,655 円、西新宿店 2F 7,441 円、新宿ゴールデン街店 8,678 円の合計 43,311 円です。募金累計総額は 5,952,918 円です。

- ◆ 協賛企業紹介(順不同) 株式会社アブ・アウト(らーめん山頭火)様、株式会社 アール・エー・アール『麺や七彩』様、カネジン食品株式会社様、『災害復興支援団体』仙台・とどけ隊様、社団法人日本トレーラーハウス協会様 仙台ラーメン店 五福星様、災害救援ネットワーク埼玉様、大崎裕史様 吉田範之様以上。